



RI 会長：ジェニファー・ジョーンズ  
2620 地区ガバナー：浅原 諒蔵  
会長：山城 一哲 幹事：栗原 伸夫 会場監督：植山 和人  
例会：毎週金曜日 19:00 - 20:00  
グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006  
E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2023年2月17日（金） 晴 第1611回例会 週報 NO. 24

司会：内田 努 会場監督補佐  
点鐘：山城 一哲 会長  
ロータリーソング「我らの生業」

### ゲスト

静岡ブルーレヴズ（株）  
代表取締役社長 山谷 拓志様  
スポンサーセールス  
雨宮 大地様  
桑田 有未様

### 会長挨拶



本日は静岡ブルーレヴズの皆様をお迎えしています。私はラグビーの事はあまり詳しく知りません。今日はどのようなお話をさせていただけるか、楽しみにしてきました。今日はブルーレヴズに合わせて、ブルーで統一して来ました。

2月6日トルコ、シリアで発生した大地震、死者4万2千人を超える世界でも類を見ない大惨事になってしまいました。大変心を痛めています。一日でも早く、被災された方が日常生活を取り戻せるよう、できる限りの緊急支援をしたいと思います。地区からも救援金の依頼が来ています。皆様の暖かいご支援を宜しくお願いします。

2月15日水曜日、会長幹事会がありました。第5グループではロータリー会員手帳の改訂について

競技しました。現在は皆様が便利に利用している手帳ですが、個人情報が多く盛り込まれているため、本年度を機に改定することになりました。プライベート部分を任意とし、会社関係は現状維持となります。退会者は退会時に回収するという意見もありました。これをクラブで再審議し、4月の会長幹事会で最終決定致します。皆様のご意見をお寄せください。

2月26日日曜日、IMが行われます。大事な例会ですのでご出席を宜しくお願いします。

### 幹事報告



- ・2月26日 IM 出欠変更は事務局へお知らせください。
- ・IM 席次表を回覧します。
- ・2月24日は休会です。

### 委員会報告

\*公共イメージ向上委員長

川合 広高さん  
後期ファイアーサイドミーティングは3月7～10日志ノ蔵で行います。参加希望日の表を回覧しますので、まだお返事いただいてない方はご記入ください。複数日可能な方はその旨お知らせくださると助かります。

ファイアーサイドは例会扱いですので、欠席の場合はメーキャップをお願いします。



\*次年度幹事 志賀口裕輔さん

本日例会終了後、レアンジェの間で次年度予定者委員長会議を行います。

### スマイル

♪山城一哲さん、栗原伸夫さん

本日は静岡ブルーレヴズの皆さんにお越しいただきました。ラグビーの話をたくさんお聞かせください。

♪内山義之さん

本日はラグビーチーム「静岡ブルーレヴズ（株）」の社長山谷様に卓話をさせていただきます。どのようなお話が大変楽しみです。



### 卓話

#### プロスポーツによる地方創生

ゲスト紹介：内山義之

プログラム委員長

ラグビーは3年前のワールドカップの時に俄かファンになりました。今日の話を楽しみにしています。



プロスポーツによる街づくり、地方創成ということをこの20年各地で行ってきました。浜松はもっとプロスポーツを活用できる所だと思います。浜松を拠点とするメジャースポーツがなく、まだまだ経済も回っているの、プロスポーツを活用するイメージがないのではないかと思います。今日はこのブルーレヴズというコンテンツを使っての街づくりについて話をしたいと思います。

私は東京生まれ東京育ちで、アメフトをやっていました。大学卒業後リクルートで営業を、その後は経営コンサルティングの仕事をしていたが、36歳の時に宇都宮からバスケットチーム立ち上げのオファーがあり、引き受けてしまいました。田臥勇太という選手にご縁があり、3年で日本一になることができました。その後茨城に移ってつぶれそうなチームの再建に関わり、2部リーグから1部に上げることができました。

そしてヤマハのラグビーチームのプロ化に伴い、1年半前に静岡に来ることになりました。

ゼロからチームを立ち上げた宇都宮ブルックスは現在Bリーグで2回日本一になっていますが、Bリーグ前の当時、宇都宮はシャッター商店街でした。でも、チームが優勝してパレードをしたら、1万人が集まって来ました。プロチームがあつてよかった、栃木を自慢できると皆さん言っていました。

プロスポーツが地域に与える影響は素晴らしいものです。その後の茨城でも同じような経験をしました。これを浜松でもやりたいのです。プロスポーツの選手が地域の子供たちと触れ合ったり、町の祭りに出たりする。ラグビーでは日本で初めての取り組みです。

スポーツを通じた街づくりという、日本ではまず国体が頭に浮かびます。国体はスポーツを広めるためのイベントで、それによって、インフラも整備されてきました。健康な体作りのためにマラソン大会を行って経済活動を生み出しているところもあります。

高校、実業団などの強いチームがあるとそこがそのスポーツの街だと言われるようになります。それは行政が意図してできたものではなく、結果です。こちらはスポーツを見て楽しむことで経済活動が起こります。

オリンピックなどの放映権がとて高いのは、見たい人がたくさんいるからです。それくらい価値があります。ですので、「見るスポーツ」を活用し、地方創生をしていくことが今後増えるでしょう。ただ、プロチームを持ちたくても持てない、うまく生かしきれていない自治体があるのが現状です。

地域に「見るスポーツ」がある利点は経済効果、知名度向上（観光や工場誘致に有利）、そして地域の連帯感向上などがあります。子供にとっては一流の選手が身近にいるのは大きな励みです。

「見るスポーツ」で街を盛り上げるためには中身だけでなく外身、試合を見る場所が必要です。ですが、今日本にある施設のほとんどはスポーツを見て楽しむためのものではなく、試合をするためのものです。例えば体育館では土足や飲食が禁止されていたりします。日本では箱を作っても中身がないと揶揄されます。作ったら中身を持ってきて、箱と中身一体となって経済効果が生まれます。

沖縄のアリーナはバスケットを見るのに最適だけでなく、バスケットがない時にはコンサートや見本市、何でも開催できます。また、お金を稼げる場所にお金をかけていてVIP席などもあります。日本ハムが北広島に作った野球場は、その周辺に商業施設や宿泊施設を作っています。それによって周辺の価値が上がり、高いお金を払ってでも人が集まってきました。

長崎も駅前にアリーナができます。ホテルも併設され、部屋から

試合が見られるそうです。ジャパネットはこの施設を作っただけでなく、サッカーとバスケのチームも立ち上げてしまいました。

ラグビーの日本チームは2015年から強くなる一方です。2019年には静岡ショックもありました。実業団チームからだんだんプロ化していき、去年からセミプロリーグ、リーグワンができました。そしてブルーレヴズはヤマハが親会社ではありますが、静岡県全体で応援してもらえるチームを目指しています。ユニフォームにはYAMAHAだけでなく、Suzuyoも入っていて、サッカーと差別化しています。ヤマハを残している点はレヴズという名前で、これはエンジンをつかすという意味です。今リーグ戦中ですが8位と少し苦戦しています。ぜひお越しください。五郎丸選手は引退して、普通にスタッフとして働いています。

政令指定都市でメジャースポーツの本拠地がないのは浜松と堺市だけです。80万人の経済規模があつて、プロスポーツがないのはもったいないです。浜松にドーム型の新しい野球場を作る計画がありますが、そこでは野球だけでなく、ラグビーもでき、浜松らしいオートバイのレースや音楽のイベントもできれば稼働率も上がります。そして「ラグビーなら浜松だよ」と言われるようになって、コスト最小限収益最大限のスタジアムができれば、というのが理想だと思います。

ブルーレヴズの試合も迫力があつたのでぜひ一度見に来てください。今日はチケットも販売させていただきます。

### \*\*\*出席報告\*\*\*

発表：久米崇也 出席委員

会員数	43名
出席者数	23名
出席算定会員数	34名
出席率	67.65%

前々回出席者数  
25名  
修正出席率  
71.43%

